

国際物流の基礎知識

～アジアの事例を交えながら～

本講座では、はじめに国際物流の基本的事項を確認します。そして、躍進するアジア域内における国際物流の現状、更には事例を交えながら、今後の日系荷主動向と物流事業者動向を解説します。

1980年代後半以降、私たちは、円高、生産拠点のアジア移転、産業の空洞化、FTA(自由貿易協定)、自然災害によるSCMの寸断、販売拠点としてのアジア・・・等を経験してきました。

今後私たちにとって、「国際物流の基礎知識」は益々必須になってまいります。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日程・場所

・2015年7月28日(火) 13:00～17:30

(受付 12:30～)

・日本通運本社ビル 4階 会議室C

東京都港区東新橋1-9-3

◆是非、ご参加ください◆

- ・ 荷主企業、物流企業の若手社員で、今後本テーマを必要とされる方
- ・ 新たに国際物流に携わる方、国際物流の基本を学びたい方

参加料金

・22,000円(税込)

定員50名(最小開催人数20名)

- ・定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
- ・参加料金は開催日前日までにお振込みください。
- ・振込み手数料はお客様ご負担とさせていただきます。

◆キャンセル規定◆

キャンセルの場合は、7月17日18時までに事務局にご連絡下さい。それ以降のキャンセルは下記キャンセル料を申し受けます。

- ・7月21日～24日:参加料の30%
- ・7月27日及び7月28日:参加料の全額

お申込みは弊社Webサイトから

www.nittsu-soken.co.jp/seminar

弊社Webサイトからエントリーを行ってください。
エントリー受付後、セミナーの参加証、および請求書を郵送いたします。

カリキュラム

13:00 ~ 13:05

オリエンテーション

13:05 ~ 14:25

1、国際物流の基礎知識

国際物流と国内物流の違い / 国際物流を発達させた要因は何か
海上コンテナ輸送 / 航空輸送 / 国際複合一貫輸送

14:35 ~ 15:50

2、アジア域内の国際物流の現状

日本の貿易概況 / アジアの貿易概況
1980年代後半以降の生産拠点の移転の推移
EPA・FTAが国際物流に与える影響 / 東西経済回廊と南部経済回廊

16:00 ~ 17:15

3、日本企業の動向(事例)

国際物流にみるコストの具体的削減事例 / 繊維産業にみる荷主動向
自動車物流にみる荷主動向 / アジアにみる物流事業者の動き

17:15 ~ 17:30

質疑応答

※カリキュラムは変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

講師プロフィール



石原 伸志(いしはら しんじ)

東海大学海洋学部教授

1974年に早稲田大学卒業後三井倉庫に入社。1988年～1993年三井倉庫(タイランド)社に出向。2005年12月末三井倉庫を退社。2006年4月から東海大学海洋学部にて奉職。専門は、アジア域内の国際物流。多摩大学大学院客員教授、一橋大学、駒沢大学他の非常勤講師歴任。現在、日本貿易学会理事、日本物流学会理事、日本港湾経済学会事務局長。『貿易物流実務マニュアル』、『コンテナ輸送の理論と実際』他の著書論文がある。

日通総合研究所のプロフィール



1961年(昭和36年)創立の物流・ロジスティクスに関わる総合シンクタンク。高い専門性、豊富な経験、独自のノウハウで、物流・ロジスティクスに関する研究、調査、コンサルテーションを行っている。また、近年は、物流・ロジスティクスに関わる人材の育成・教育事業に力を入れている。

株式会社 日通総合研究所

〒105-8322 東京都港区東新橋1-9-3
TEL:03-6251-3279 FAX:03-6251-6450
事務局担当: 山内